

# 主張度の高い女性文末詞使用の変遷

## — 4 世代にわたる調査分析 —

水本 光美

最近のテレビドラマでは、若い女性登場人物は「～わ」や「～かしら」で代表される女性文末詞を通常は使用しないが、反論・自己主張・皮肉などの主張度の高い文脈で突如として部分的に使用することがある。このタイプを「スイッチ型」と呼ぶ。20代から50代までの標準語を話す女性たちに、主張度の高い場面設定で会話する実験調査をしたところ、現実には、若い年代にはスイッチ型のような使用は認められなかった。また、現在の50代の女性に頻繁に使用されている女性文末詞は、若い世代にはほとんど使用されていないが、その衰退は、主張度に関係なく、現在の40代の女性達によって急速に進んだことも分かった。

キーワード：女性文末詞、使用率、主張度、スイッチ型、若い世代

### 1. はじめに

#### 1. 1 研究目的

留学生に対する日本語教育では、その教材として主たる教科書や副教材などの他に、生教材としてテレビドラマを利用することがよくある。日本の現代社会とそこに生きる人々の有様を観察し、そこでどのようにことばが使われているかを学ぶことは有効な学習方法である。

しかし、現在放映されているテレビドラマで使用されることばにおいて、

社会で実際に使われているものとは異質なものが存在していれば、われわれ教える側としては、それをそのまま「生きた日本語」として教えるわけにはゆかない。本稿では、従来、日本語の特徴の一つとして認識されてきた文末に現れる女性特有の文末詞（以後「女性文末詞」という）の中でも「主張度の高い女性文末詞」に焦点をあて、現在の日本社会におけるその使用度に関する実験調査結果について、最近のテレビドラマの調査結果と比較しながら分析を行う。その結果により、現実の社会における使用状況を見据えた上で、日本語教育において女性文末詞をどのように扱えば良いか提案をしたい。

## 1. 2 先行研究の概要と課題：自由会話

自由会話における女性文末詞に関する先行研究は、90年代初頭よりいくつかの先行研究（三井 1992, 小林 1993, 尾崎 1997, 小川 1997, 2004 など）によりなされており、いずれも、女性文末詞が以前ほど使用されなくなっていることを報告している。個々の先行研究は、それぞれ特徴があり、女性文末詞使用の減少傾向を報告する意義あるものではあるが、同時に、それぞれ課題も認められる。

例えば、先行研究の中には、研究対象が特定の職業に限定されていたり、対象数が数名に限られていたり、また機械分析によったことで、データの限界性、あるいは正確さにおいて課題も一部認められる場合がある。また、データ収集時間が数分間という限られたものであったり、標準語使用を実体験ではなく観念的にしかとらえられない地方のことばを話す者を対照に実施したアンケート調査結果をデータとしていたりする場合も、より正確なデータ素材としては改善の余地が認められる。また、データ収集時期が10年以上前のものである場合は、急速に変化してゆく若者世代の言語使用状況を厳密には語れない。

そこで、筆者の先行研究（水本 2005, 2006、水本他 2006, 2007, 2008 など）

主張度の高い女性文末詞使用の変遷  
— 4世代にわたる調査分析 —

においては、これらの課題を踏まえて、自由会話およびアンケート実施対象者を厳密に標準語話者（東京方言あるいは首都圏方言話者）に限定し、20代から40代の合計36名の女性による30分間のカジュアル会話を収集、最新のデータ分析を試みた。これらの一連の研究では分析法も考案し、機械分析ではなくスクリプトを個々に手作業で調査し、その使用回数を算出、文脈を考慮しつつ正確かつ精密に分析した。

調査対象とした文末詞は、女性文末詞の代表とされる「かしら」「わ」「わよ（ね）」「わね」「体言+ね」「体言+よ（ね）」「のよ（ね）」「のね」の8種で、いずれも上昇調のイントネーションによるものである。しかし、最初のデータ調査結果より、「のね」に関しては、現在の若い世代の女性達による使用状況が、上の世代の女性達のそれとはさほど差が認められなかったため、その後の研究では、「のね」を除く7種を対象とした。

この7種の文末詞に関し、20代から40代までの女性達による自由会話における女性文末詞使用率を、次の表1の『二項対立表』により算出した。その分析法としては、従来の全発話数を分母とする使用率の算出法ではなく、

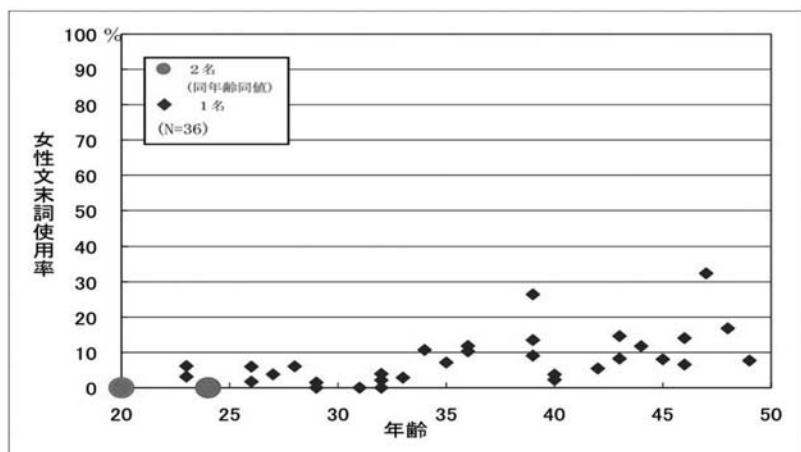
表1 二項対立表（女性文末詞の使用／不使用での対立表）

\*（N：名詞/代名詞、イA：い形容詞、ナA：な形容詞、V：動詞）

女性文末詞使用形	不使用形 (neutral)
かしら（ね）	かな・だろう（ね）・だろうか（ね）・っけ（ね）
N+ね ナA+ね 等	N+だね ナA+だね 等
N+よ（よね） 疑問詞+よ 等、ナA+よ（よね）	N+だよ（だよね）/疑問詞+だよ等、ナA+だよ（だよね）
{V / イA / ナA / N}+のよ（ね）	{V / イA / ナA / N}+んだよ（ね）
わ / わね / わよ（わよね）	「わ」のない文末 / ね / よ（よね）

女性文末詞が出現し得る文脈における有効文でそれを用いたか用いなかったかという「有効発話文中の女性文末詞使用率」を算出するものである。

その結果、まず自由会話においては、36名中、7名は女性文末詞を全く使用しておらず(20代5名、30代2名)、中でも20代から30代の若い世代による使用率は、ほとんどが10%以下で平均使用率は2.36%と極めて低いということが分かった。(図1参照)これにより、若い世代では、女性文末詞がほぼ消滅しつつあるということを数値的に明確に立証した。



1 自然会話における女性文末詞使用率

同時に、会話実施者対象に実施したアンケート調査結果により、現在の若い女性達は、普段の会話では女性文末詞は使わず、女性文末詞を微量使用したとしても、それは、気取って言いたい時、ギャグで女っぽくしたい時、冗談で笑いを取りたい時、皮肉を言いたいときなど、特殊な目的にしか使わないということが分かった。このように、女性文末詞の多くは、現在の若い世

代の女性たちの意識の中では、特殊場面で使用される特別なイメージを持つものとして捉えられている。

### 1. 3 先行研究の概要と課題：テレビドラマの会話

#### 1. 3. 1 女性文末詞の多用と使用タイプの特徴

自由会話との比較対象としたテレビドラマの登場人物たちによる会話（普通体によるカジュアル会話）調査研究（水本他 2006、水本光美・福盛壽賀子 2007、水本他 2008）においても、上述と同様な分析法をとった<sup>り</sup>。

その調査の結果、ドラマに登場する女性の女性文末詞の平均使用率は、実社会における自然会話の使用率を大きく上回り、ドラマでは自然会話とは異なり、年齢が若くとも女性文末詞を高頻度に使用していることが分かった。また、実社会の会話では、20代から30代までの若い世代には、ごく稀にしか使用されない「わ系」が、ドラマにおいては多用され（出現頻度は女性文末詞総数の41.40%）有効発話総数の使用率18.84%は、実社会の自然会話の75倍にも達しているということが判明した（表2、図2参照）

表2 女性文末詞の出現回数

	有効発話総数	かし ら	ね	よ	のよ	わ系	総数
会話	2017	5	16	18	49	5	93
ドラマ	1226	26	41	121	139	231	558

\*有効発話総数＝女性文末詞が出現可能な文脈を含む発話文の数

水本・福盛（2007）においては、ドラマの個々の登場人物の女性文末詞使用率を、「常時使用タイプ」（使用率50%以上、現実社会の会話の10倍以上）「無使用タイプ」（使用率10%未満で現実社会の会話と同レベル）「時々使用タイプ」（使用率10%～50%未満）の3つに分類した。なかでも「時々使用タイプ」の

中には、普段は使わないが、ある文脈や状況において女性文末詞を突如使用する「スイッチ型タイプ」が存在し、反論、非難、抗議、自己主張、皮肉などの主張度の高い場面で次の例のように突如、女性文末詞を使用する。

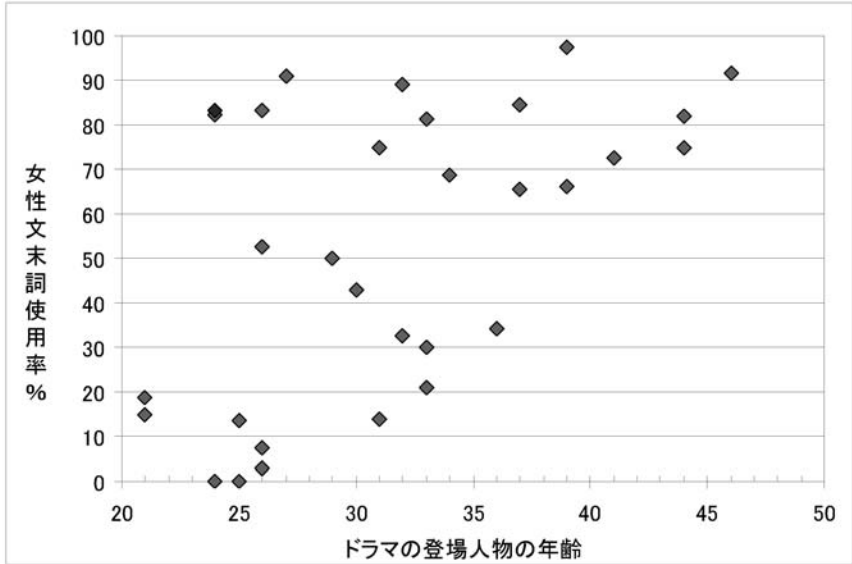


図2 トレンディ風ドラマ登場人物(N=31)の女性文末詞使用率

\* 「F21-1」は、ドラマ「F」に登場した21歳の女性であることを示し、同ドラマで同年齢の女性が複数登場する場合は「F21-1」「F21-2」と表示。数字の後の「M」は男性であることを示す。

<スイッチ型例1> (遅れてきた友人に抗議する場面)

F26M : あ、わりいわりい。

F21-1 : もう、どこ行ってたのよ。



主張度の高い女性文末詞使用の変遷  
— 4 世代にわたる調査分析 —

<スイッチ型例 2> (突然かかってきた不審な電話に反論する場面)

電話: あの若い男性は A32 さんの恋人なんですか。お付き合いしていらっしやるんですか。

A32: 付き合ってるわい。なんでこんな質問に答えなきゃならないんですか。

<スイッチ型例 3> (借金を肩代わりしてやるという男に対して自分の立場を主張する場面)

D39M: 借金がなくなれば完璧に切れる。

D36: ありがとう。でも、あなたが肩代わりする言われはないわ。私は納得して借金したけど、あなたに肩代わりされるのは納得できない。

<スイッチ型例 4> (結婚を宣言した A32 に向かって後輩の加藤が)

後輩: ここまで宣言したらもう後には引けませんよ。

A32: あのさあ、加藤さんはどうしてそういう後ろ向きみたいなことばかり考えるのかしらねー。あつ、は、は、は。

このように、最近のトレンド風ドラマでは、従来の女性文末詞が日常的な穏やかな会話で頻繁に使用されるのではなく、普段は使用しない若い世代の女性が冷静さを欠いた感情的な対立場面で突発的に使用される傾向があり、例 2 のように、丁寧体、普通体の壁をも越えてスイッチするという特徴も見られる。

### 1. 3. 2 主張度の高い女性文末詞

前項で述べたスイッチ型タイプは、ごく最近のドレンディ風ドラマでも主流となってきており、前項の先行研究(水本・福盛 2007)においてもその特徴を詳細に分析した。その結果に、更に本研究で追加データを加えまとめたのが次の図 3 である。これは、ドラマの登場人物より全く女性文末詞を使わない人物 2 名を除く 40 名の中で、ドラマに偏りが出ないこと、発話数が多いことを条件に選出した 10 名(高頻度話者 6 名、スイッチ型話者 4 名)について、使用数の多い女性文末詞上位 5 種を分析したものである。

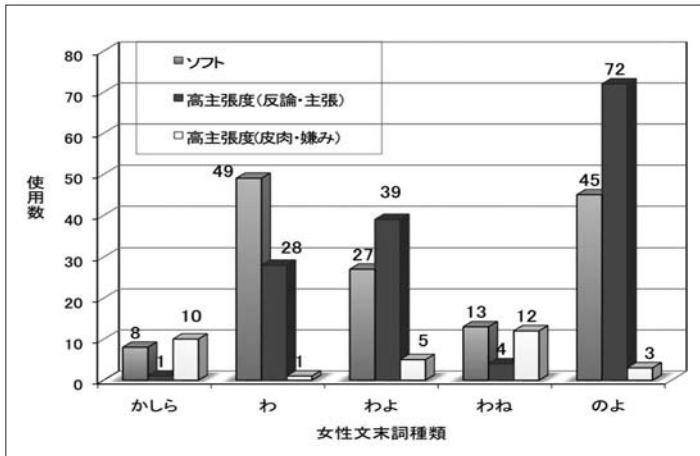


図3 テレビドラマにおける女性文末詞種類別使用回数

各文末詞が、元来のソフトな使用範囲内であるか、あるいは、反論、抗議、非難、主張、皮肉・嫌みなどの主張度の高い目的のものか、に関し観察したところ、「わ」以外はすべて、主張度の高い目的のものが普段のソフトな場面より多く使用されており、使用率は約55%から62%であった。特に「のよ」と「わよ」には、その特徴が際だってみられる。「かしら」と「わね」は、従来の上品な使用例より、皮肉・嫌みの場面での主張度の高い使用が特徴的である。

このように、従来のソフトな機能とは逆のタフな機能を持つ女性文末詞の使用例の多さは、一つには、ドラマにドラマチックな非日常的な対立場面が多いことが起因していると考えられる。しかし、この主張度の高い女性文末詞を突発的に使用するスイッチ型の使用法が、果たして現代の若い女性達の会話でも同様に現れるかどうかについては、更に調査してみる必要性が生じた。



## 2. 主張度の高い女性文末詞使用調査

### 2. 1 ロールプレイによる実験調査

実社会でも若者たちがドラマのように一定の文脈で女性ことばにスイッチするかどうかについては、水本他（2008）において、「わ系」の使用に関する2種の調査（アンケート形式意識調査、主張度の高い状況設定におけるロールプレイ実験調査）を試みたが、ドラマにおけるスイッチ型使用というような顕著な特徴は認められなかった。しかし、先行研究では、主張度の高い状況設定におけるロールプレイ実験調査の対象が、20代と30代の19名に限られていたため、データ量としては増強する必要があった。

そこで本研究では、調査対象を20代から50代の標準語（東京方言および首都圏方言）を話す女性48名へと拡大し、若者から年配までの広範な使用状況を観察することにした。しかし、自然会話からこのような主張度の高い感情的な文脈を抽出することは不可能に近いと、そのような文脈を場面設定したロールプレイによる会話からデータを抽出することとした。

ロールプレイは完全な自然会話ではないが、主張度の高い発話が出やすい場面設定を提供するだけで、会話者が、普段のように自由に発話することは言うまでもない。また、録音した会話とその後のアンケート調査から、日頃の話者の話し方や話者が使用する文末詞がロールプレイによって影響を与えられることはなく、極めて自然な会話収集可能であることも確認出来た<sup>2)</sup>ため、自然な文末詞使用データが抽出可能であると考えた。

#### 2. 1. 1 調査方法

調査対象は、標準語を話す20代から50代までの女性、各世代12名ずつの合計48名である。標準語に限定したのは、地方の方言では女性文末詞を使用しないことがほとんどであり、使用しても、例えば、関西弁で頻繁に使用される異なった「わ」の使用法<sup>3)</sup>も存在するため、データ収集には適さないからである。また、アンケート<sup>4)</sup>でも非標準語話者は日頃、自分が使用しない女性文末詞に関して直感で回答出来るわけもなく、従って、標準語を確実に話す話者に限定した。

標準語を話すかどうかに関しては、アンケート調査により現在までの居住地を詳細に記載してもらい、20代30代であれば、生まれて現在まで東京、および隣接する地域（神奈川、千葉、埼玉、山梨）に居住していることが条件、40代以上であれば、20代前半までに上述以外の地方に5年以上継続して居住経験のある者と家庭で標準語を話していない話者は、なんらかの地方語による影響の可能性が考えられたため、対象者外とした。ただし、50代後半の話者1名に関しては、18歳まで地方に居住したが、それ以後は、40年間継続して東京に居住し、かつ、家庭でも標準語を話しているため、若い頃の地方語の影響はないと考え、対象者に含めた。

そのような条件下で対象者を選別し、実生活でも友達同士、姉妹、親子の関係である女性同士によるペアに、普通体の会話を3種（巻末付録を参照）、各5分程度ずつしてもらった。この会話をスクリプト化し、前述の女性文末詞使用率の算出法と同様に分析した。

## 2. 1. 2 調査結果

ロールプレイ実験調査の結果、会話実施者48名の会話全体に出現した女性文末詞使用率は次の図4のように示される。まず、20代は1名を除き10%以下で極めて少なく、12名中7名は全く使用していない。10%を超えた1名でも女性文末詞を2回しか使用していない。30代でも、1名（51.28%：「Nよ」と「のよ」を頻繁に使った）を除き0%から20%までの間に分散し、そのほとんどが10%以下である。そのうち4名は全く使用していない。

40代を見ると、36.84%使用した49歳1名を除いた他の者は20%以下で、0%も4名存在する。50代になると、散布図の形相は下位年代と大きく異なる。使用率の分布は拡散し、半数以上が20%を超え70%という高頻度の者も1名認められる。各世代の使用率平均値は、20代3.21%、30代7.35%、40代8.78%、50代でも29.01%である。

この結果から、20代、30代の若い世代では、自然会話と同様に、高主張度

主張度の高い女性文末詞使用の変遷  
— 4世代にわたる調査分析 —

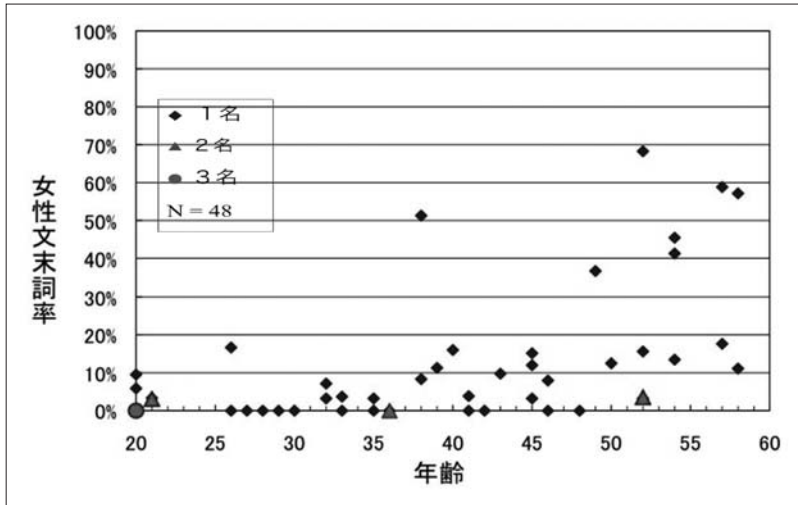


図4 ロールプレイにおける女性文末詞使用率

の場面設定における会話でも、女性文末詞はほとんど使っていないことが明らかである。40代では、若干使用率が増えるが、30代の平均値との差は僅か1.5ポイント以下であり、30代とさほど変わらないという印象が強い。しかし、50代は他の年代より頻繁に女性文末詞を使用している年代であると見受けられる。

次に、ドラマの中のスイッチ型の女性達のように、主張度の高い文脈で女性文末詞を使用する傾向が、実社会の女性達に同様に見られるかどうかについて述べる。図5は、反論、抗議、主張、皮肉などの主張度の高い文脈で使用された主張度の高い女性文末詞（■印）と、主張度が別に高くなく元来のソフトな感じで使用された女性文末詞（▲）の使用率を比較したものである。（10代から40代にかけ、使用率ゼロが横軸底辺に多数並んでいるが、同年齢0%同値が2名から4名重複する年齢がある）



使用と比較しても、1 名を除く他は、主張型がソフト型を超えて多用されることはなく、女性文末詞の使用は主張度に影響されていないということが明白であろう。

しかし、50 代になると、会話全体の使用率でもみられた様に、全体の女性文末詞使用率が急上昇し、しかも、12 名中 3 分の 2 は、主張型をソフト型より多く使用している。この年代では、主張度の高い場面設定では、主張型の女性文末詞をより多く使用する女性のほうが多いようである。

以上のように今回の調査から、主張度の高い文脈において女性文末詞を使用するのは、50 代（か、おそらくそれ以上の世代）であり、その娘の世代である若い女性が女性文末詞を好んで使用する傾向は、全く見受けられないという結果を得た。テレビドラマの中のスイッチ型の女性は、実社会に存在はせず、ドラマの中だけのものであるということが明確であろう。

次は、20 代の大学生同士の会話と 30 代の友人同士の会話の例であるが、主張度の高い場面設定でも女性文末詞が全く現れない一例である。

#### <ロールプレイ会話例 1 : 20 歳同士>

状況：昨日の先輩の引越しの手伝いに来なかった B に対して A が抗議している

A：来なかったんでしょ、昨日。分かるよね？どんだけ辛かったか。二人で一から十までやったんだよ。私の家でもないのに。

B：絶対、トミーが昨日辛かったのに比べたら、私の方が辛いに決まってる。

A：えー、どこから来るの、その自信。いなかったじゃん昨日。

B：違うよ、ちょっと良く考えてみなよ、あの先輩から告白されたんだよ。好きですとか言って、

A：うわ、気持ち悪い。

B：あの面で、

A：よく考えてみなよ、その面の人と一日中、その面の人の家を、

B：全然いいよ、トミーなんかまだ楽な方だよ。

A：いやいやいや、(中略)だから、昨日いなかったから、そんなことが言えるんだよ。一日中だよ。一日中手伝われたんだよ、ずーっとずーっと。



<ロールプレイ会話例 2 : 35 歳と 36 歳の友人同士>

状況：昨日、渋谷で D が男性と親しげにしていたのを見た C が D に真相を告白させようとしている。

C : 昨日見たよ。

D : え？何？

C : 渋谷にいたでしょ？ (D : 渋谷？) いたでしょ、渋谷。

D : え、何のこと？知らないよ。(C : 見たもん) 何見たの？うちにいたよ。

C : 嘘だよ、渋谷にいたよ。(D : ちょちょ、何の話？) あれ、誰？誰？彼氏？

D : え、彼？だって彼いないもん。

C : なんで？いたもん。だって渋谷に。109 のとこいたでしょ？スタバのコーヒ一飲んでたでしょ？

D : 行くことはあるけど、昨日は、(C : いた) なんかの人間違い、(C : 彼氏?) 違うって、ほんと違うって。

C : うそ、見た。絶対そうだもん。(D : いや、なんかちょっとそれ) だって私が間違えるわけないでしょ？

D : そうだけど、でも、人違いってこともあるじゃん。

C : ないよ。(中略) 声かけようかなと思ったんだけど、ちょっと悪いかな、いかにもお邪魔かなと思って。

上述の 2 例における下線の部分は、反論、抗議、主張、皮肉などの主張度の高い文脈部で、文末に女性文末詞が出現しうる環境であるが、彼らの会話には、まったく女性文末詞は現れない。彼らの会話例のように、20 代、30 代の若い世代の会話は、ドラマのように「のよ」や「わよ」は使用せず、この様に、従来男性語とされていた文末詞を使用して進んでゆく。現代の若い世代の女性達による従来の男性文末詞の中性的使用が、現在は定着しているのである。

## 2. 2 主張度の高い女性文末詞使用の年代変遷

以上の一連の調査分析結果より、ドラマの中のスイッチ型の女性文末詞は、現代社会の使用状況が反映されたものではないということが明白であろう。ドラマチックな場面描写によって視聴者に訴えるために、登場人物の特徴を



デフォルメする道具として、ことばが脚本家によって利用されているのである。そして当然、このスイッチ型の女性文末詞は、彼らの女性像と女性文末詞に対する既存の固定観念に影響されて作られたものであることが推考される。

では、その女性像と固定観念が培われた土壌はどこにあるのだろうか。先行研究（水本・福盛 2006、2008）においては、次のように推察した。

- (A) 女性文末詞は、まず主張度の弱いところから衰退が始まり、主張度の強い場面においては、比較的長く使用され続けていた可能性が考えられる。
- (B) 過去において、日常場面では女性文末詞を使用しなくなっていた女性も、己が強く見えそうな場面では女ことばにスイッチするということが現実にあった可能性が考えられる。

本研究では、先行研究が不足していた 40 代および 50 代のデータを充実させ、20 代から 50 代までのより長いスパンで女性文末詞の衰退変遷を観察した。次の図 6 は、元来のソフトな女性文末詞使用率と、主張度の高い女性文末詞使用率の各年代の平均値の変遷を表している。

これによると、どちらの使われ方も、50 代値が他世代に比較して極めて高く、50 代から 40 代の 10 年間で、そのカーブは約 4 分の 1 に急落している。30 代では 40 代とほぼ同様であるが、その後 20 代では、主張度の高いほうが下降しゼロに極めて接近している。<sup>5)</sup> この変遷過程から、先行研究の推察 (A)(B) の可能性はどちらも低く、女性文末詞はソフト使用も主張型使用も、どちらも同時に現在の 40 代を過渡期として一気に衰退したのではないかと考えられる。

現在 40 代の女性が 20 代というと 1980 年代である。これは、日本女性らが社会進出を積極的におし進めるようになった頃であり、女性文末詞の衰退傾向に関する研究報告が 80 年代終盤頃に出現し始めたということとも合致する。

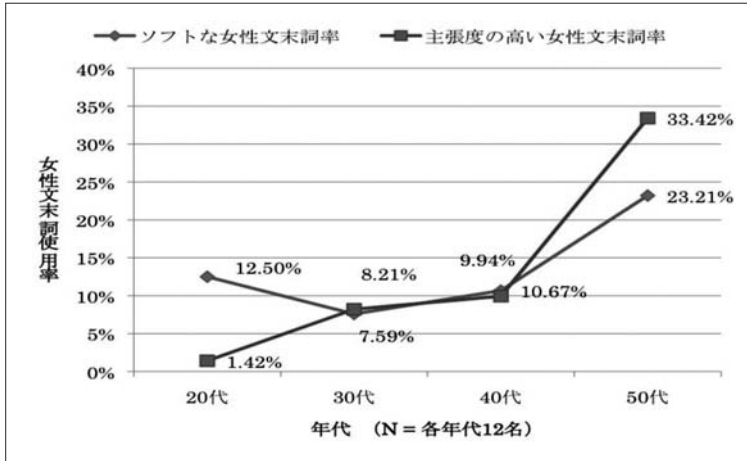


図 6 主張度の高い女性文末詞使用率の年代変遷

### 2. 3 女性文末詞に関する調査結果のまとめ

先行研究結果を踏まえ、今回までの研究調査結果を次にまとめる。

標準語を話す親しい者同士の普通体によるカジュアル会話において：

- (1) 女性文末詞は、現在の 20 代、30 代の若い女性達が普段使用するものではない。
- (2) 若い世代の女性達が女性文末詞を用いる場合は、冗談、皮肉などの特殊な目的で、ごく希にしか使用しない。
- (3) 若い世代の女性達が、反論、主張など、主張度の高い文脈で発話する際も、ドラマの中の登場人物のように女性文末詞を用いることは(2)の目的以外にはほとんどなく、従来の男性文末詞あるいは中性化した文末詞、あるいは他の表現を使用する。
- (4) 40 代は、女性文末詞の使用度が下位年代より若干増加するが、全体的に不使用傾向が強い。
- (5) 50 代は、女性文末詞を使用する度合いが下位年代より数倍高く、日常的に使用している人が多い。

- (6) 主張度の高い文脈で女性文末詞を使用するのは、50代の女性たちである。40代で使用度は急落し、それ以後の世代では使用は減少の一途をたどり20代では限りなくゼロに近い。
- (7) 元来のソフトな女性文末詞の使用と主張度の高い使用は、年代変遷を経てほぼ等しく減少したが、特に40代で急激に使用されなくなった。

### 3. 教育現場への提案と今後の課題

本研究では、女性文末詞の使用に関し、4世代にわたる減少過程を観察した。その結果、現在では、50代の女性たちに使われている女性文末詞も40代で急速に衰退し、それ以下の世代の若い女性たちは、ドラマの中に現れる同世代の女性登場人物とは異なり、女性文末詞をソフト面でも主張面でもほとんど使用しないということが明白になった。

本研究結果によって、ドラマの中の若い女性が主張度の高い場面でスイッチ型のように突如として女性文末詞を使用するのは、過去に実際に若い女性達が感情面を押し出す際に、女性ことばを隠れ蓑として用いて自分を防御した時期があったというより、ドラマの一つの手法として脚本家がつ女性像により作られた可能性が極めて高いと言えるであろう。現在の社会で若い女性達が現実的に自己主張をする際、女性文末詞を使用せず他の表現法で主張する事実に反し、脚本家が女性文末詞を好んで使用するのは、彼らの女性像がそのジェンダー意識に起因していると推察できる。

われわれ日本語を教える側としては、教材としてドラマを扱う際には、この事実を明確に認識しつつ正しい情報を学習者に与える必要がある。具体的には、教育の場においては、以下の点を確認することを提案したい。

- 1) ドラマの中の若い女性登場人物の女性文末詞使用は、現在の社会の若い世代の反映ではなくドラマの中で作られたものである。
- 2) 従って、そのドラマの中での使用法を授業で練習したり、学習者が実際に社会で使用したりすることは、現実使用状況に反する。

- 3) ただし、冗談、皮肉などの目的で、現実には、若い女性たちが女性文末詞を使用することは稀にある。
- 4) 若い女性達の母親世代以上では、実際に女性文末詞を使用しているため、聞いて認識する必要はある。古い映画もしかり。
- 5) 文学や漫画などでは、女性文末詞は年代を問わず頻繁に使用される傾向があるため、読んで理解することも必要である。

ことばは、徐々に時代を超え変化するものであるが、この女性文末詞に代表されるように、時折、時代のニーズに敏感に反応して急速に変化することもある。われわれ教える側は、その変化に常時注目し、変化の性格を吟味しながら、学習者に知識・情報を正しく伝える役割があることを再認識したいものである。

今後は、実社会で使用している主張度の高い女性文末詞を種類別に分析すると同時に、女性文末詞を使用しない若い世代が、主張度の高い場面において、実際には、どのような表現法を用いているかについて分析研究を推し進めてゆくことを課題としたい。

#### 注

- 1) 調査対象：日常的にテレビ放映されている若い女性登場人物主体のドラマ（主に、夜のゴールデンタイムに放映されるもの）15本、吹き替えの海外ドラマと映画計5本、合計20本。調査対象リストは水本他(2008)を参照されたい。

調査方法：20代から40代の主要女性登場人物がカジュアルな文体で話す場面のみを、ドラマごとに60分の長さに編集したものを分析。個々の主要女性登場人物（58人）ごとに、女性文末詞の使用回数をカウントし、前述の「二項対立表」に基づき使用頻度を算出。

- 2) 会話後のヒアリングにより、日頃の話し方がロールプレイによって制限されたり、影響されて不自然になったりしなかったか確認した。また、会話後のアンケート調査のコメント部分でも、「設定が日頃あまりないことである」という意見は1名見られたが、それによって、日頃の話し方が影響を受け変わってしまったということはないということを確認した。
- 3) この下降調の「わ」は、特に関西弁では頻繁に使用され、軽い主張、決意、詠嘆の機能で使われる。現在、標準語でも男女を問わず使用される。
- 4) ロールプレイの会話後に実施。無記名だが、年齢、職業、自分のいままでの居住地を詳細に記載してもらった上で、記述式の会話例の文末部分に自分ならどのような文末を用いるかを選択式（選択不可能な場合は、自由記述もあり）で回答してもらった。詳細な内容は、水本(2005)の巻末付録の内容に類似。
- 5) 20代のソフト使用平均値が12.5%であるのは、3名がそれぞれ1回から2回女性文末詞を使用しただけであるが、分母となる使用回数自体が少数であるため、使用率が50%ずつとなってしまうのが影響し、20代の平均値を押し上げることになってしまったためである。20代の使用回数合計は、ソフト使用5回、主張型使用2回でどちらもごく少数である。

## 謝辞

本稿は、共同研究者であった福盛寿賀子氏、高田恭子氏、福田あゆみ氏の協力を得て執筆した先行研究の研究内容をまとめ、その課題についてさらに研究を推し進めたものである。一部のデータや図表は各氏との共同研究の産物でもある。今までのご協力に深謝する。また、ロールプレイ実験調査の遂行に関しては、実験協力者をご紹介いただき便宜を図って頂いたイーストウエスト日本語学校の嶋田和子先生、神田外国語大学の細井和代先生、友人の石瀬麻美、中川秀子両氏に、心から感謝の意を表する。



参考文献

- 小川早百合 (1997) 「現代の若者会話における文末表現の男女差」, 『日本語教育論集-井出詞子先生退職記念-』, 凡人社, pp. 205-220.
- 小川早百合 (2004) 「話し言葉の男女差-定義・意識・実際-」『日本語とジェンダー』vol.4, 日本語ジェンダー学会: [http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no4/B\\_ogawa.htm](http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no4/B_ogawa.htm)
- 尾崎喜光 (1997) 「女性専用の文末形式のいま」現代日本語研究会編『女性の言葉・職場編』, ひつじ書房, pp. 33-58.
- 小林美恵子 (1993) 「世代と女性語-若い世代の言葉の『中性化』について」, 『日本語学』, pp.12-6, pp.181-192.
- 水本光美 (2005) 「テレビドラマにおける女性言葉とジェンダーフィルター-文末詞(終助詞) 使用実態調査の中間報告より-」, 『日本語とジェンダー』第5号, 日本語ジェンダー学会, pp. 23-46.  
[http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no5/3\\_mizumoto.htm](http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no5/3_mizumoto.htm)
- 水本光美 (2006) 「テレビドラマと実社会における女性文末詞使用のずれにみるジェンダーフィルタ」, 日本語ジェンダー学会編『日本語とジェンダー』ひつじ書房, pp. 73-94.
- 水本光美・福盛寿賀子・福田あゆみ・高田恭子 (2006) 「ドラマに見る女ことば『女性文末詞』-実際の会話と比較して-」, 『国際論集』, 第4号, 北九州市立大学, pp. 51-70.
- 水本光美・福盛壽賀子 (2007) 「主張度の強い場面における女性文末詞使用-実際の会話とドラマとの比較-」, 『北九州市立大学国際論集』第5号, pp. 13-22.  
[http://www.kitakyu-u.ac.jp/gkj/2007\\_kr1\\_5.html](http://www.kitakyu-u.ac.jp/gkj/2007_kr1_5.html)
- 水本光美・福盛壽賀子・高田恭子 (2007) 「会話指導における女性文末詞の扱い」, 『第6回OP I 国際シンポジウム: 発表論文集』, 関西OP I 研究会他, pp. 85-90.



水本光美・福盛寿賀子・高田恭子 (2008) 「「ドラマに使われる女性文末詞-脚本家の意識調査より-」, 『日本語とジェンダー』第8号, 日本語ジェンダー学会, pp. 11-26. [http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no8/02\\_mizumoto.html](http://wwwsoc.nii.ac.jp/gender/journal/no8/02_mizumoto.html)

## 付録

<ロールプレイカード例>

### 1—A

昨日、渋谷でBが若い男性と楽しそうにデートしているのを見ました。相手は誰か、彼氏ができたのか、など、知りたくてたまらないので、率直に聞いてください。あなたが見たのは確かにBで、見間違えではないということに、あなたは自信があります。真実を言うように相手を説得して下さい。

### 1—B

Aが、昨日あなたがデートしているのを見たと言っていますが、あなたは、昨日は一日中、体調が悪くて自分のアパートに一人でいました。Aが見たのは人違いで、あなたは嘘をついたりしないということ、きっぱり言って見間違いであったことを納得させて下さい。

### 2—A

昨日の日曜日は 先輩の家の引っ越しの手伝いにBと一緒に行くことになっていました。あなたは行って夜遅くまで手伝いをさせられましたが、Bは連絡もせずに来ませんでした。あなたは月曜の朝、Bにどうして来なかったのか、どんなに引っ越しの手伝いが大変だったか、文句を言ってください。

### 2—B

あなたはきのうの日曜日に先輩の引っ越しの手伝いにAと一緒に行くことになっていました。が、せっぱつまった理由で連絡もしないまま行くことができませんでした。Aに事情を説明し、自分がどうしても行けなかったことを分かってもらってください。